

高校生に物作りなど関心を

つまようじタワー耐震コンテスト

熊本、福岡、愛媛から27校166人

高校生がつまようじと接着剤だけで組み立てたタワーの耐久性を競う「第8回つまようじタワー耐震コンテスト」が22日、熊本市西区の崇城大であった。熊本、福岡、愛媛3県から過去最多の27校166人が出場した。

建築科が2011年から毎年開催している。普通高と工業系の2部門があり、2人1組のペアで出場した生徒たちは、それぞれ事前に作成した高さ50センチ以上、重さ60グラム以下（工業系部門は80グラム以下）のつまようじタワーを披露。会場ではタワー上部に取り付けた台の上に金属の重り（1キログラム）を一つずつ増やしなが

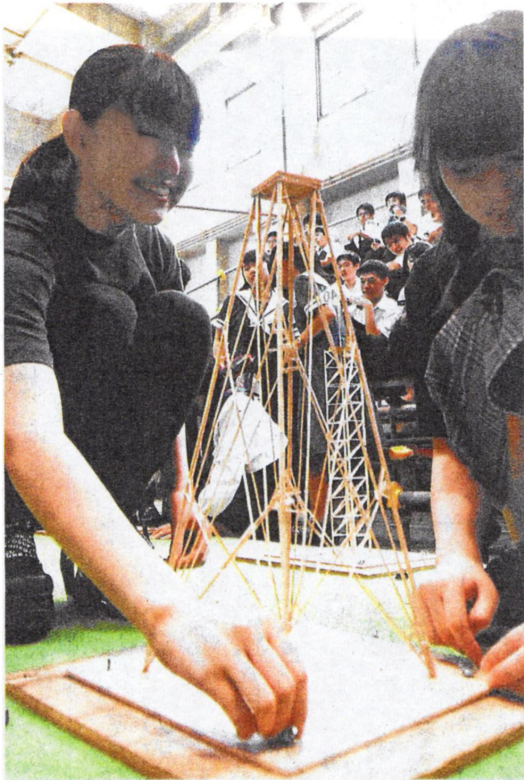
ら、2種類の振動にどこまで耐えられるかを競った。

約3週間かけて製作したタワーで初出場した愛媛県の私立済美高校2年、浅岡千紀さん（17）と山口真輝さん（16）のペアは「壊れないように愛媛から手運んできた。大学でも建築について学びたい」と話していた。

【清水晃平】

物作りや建物の耐震性に関心を持ってもらおうと、同大工学部建

築学が2011年から毎年開催している。普通高と工業系の2部門があり、2人1組のペアで出場した生徒たちは、それぞれ事前に作成した高さ50センチ以上、重さ60グラム以下（工業系部門は80グラム以下）のつまようじタワーを披露。会場ではタワー上部に取り付けた台の上に金属の重り（1キログラム）を一つずつ増やしなが



準備したタワーを会場に設置する女子高生ペア